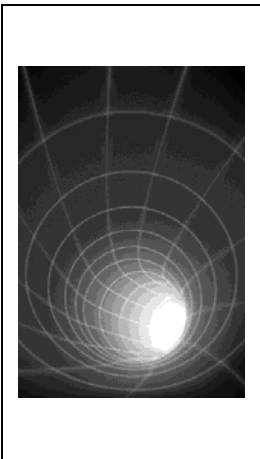


魅力イメージング：少子化問題の解決に挑戦する

千葉大学
津村徳道



1. はじめに

急激な少子高齢化に直面する我が国では、出生率上昇による若年人口の回復が急務となっている。このためには、男女を高確率で相性のいいパートナーと結びつけることが出来る、次世代型マッチングシステムの整備が不可欠である。

人類は、長い淘汰の歴史を経て、自らの遺伝子を次世代に確実に伝えるための生殖戦略を進化させてきた。その結果、容姿・匂いなどの感覚情報から、相手の遺伝的プロファイルを読み取り、自分と子孫の繁栄に関して相性の良い相手を選別する能力を獲得したことが明らかにされている。換言すれば、ヒトは、相手の遺伝的プロファイルを反映する感覚情報（容姿、匂い etc）を手掛かりに、遺伝子レベルで相性のいい異性を本能的に選別することが出来る¹⁾。

次世代型マッチングシステム開発にあたり、ヒトが持つこの『本能に基づくパートナー選別能力』を最大限に活用することで、遺伝子レベルで最適なパートナーとのマッチングが実現すると期待される。現在の ICT 技術による SNS を経た異性との交流では、相手の遺伝子情報を読み取ることは全くできない。もちろん、今後の何万年もの人類淘汰の結果により、現在の SNS から遺伝子情報を読み取る形質を人類は獲得するかもしれない。しかし、当然、現在の少子化問題は、今後の何万年もの間、解決を待ってくれず、現在における喫緊な問題である。

そこで、本解説では、相手の遺伝的プロファイルを反映する感覚情報を的確に伝達可能なソーシャルネットワークサービスを早期に実現すべく、本能に基づく魅力伝達システムに関する基礎研究を紹介する。これらの技術の発展により、図 1 に示すように、SNS 上のコミュニケーションから、現在の人と人が効率良く出会い、効率よく結ばれ、効率良く子孫を残し、少子高齢化問題を早期に解決し、人類の健全な繁栄を今後期待することができるようになると考えている。この時、図 2 に示すように SNS にもっとも頻繁にアクセスするスマートフォンで取得可能な視線、心拍、表情などの情報と異性魅力の関係性を明らかにする必要がある。



図 1 少子化問題を解決するためには SNS 上での出会いを現実世界での有効な出会いに効率的に誘導する必要がある。